

四日市版コミュニティスクール報告書（令和2年度総括）

四日市市立下野小学校

校長 木村 弘子

1 コミュニティスクール（運営協議会）のねらい

- ①学校づくりビジョンや学校評価、子どもたちの様子等に関して協議し、「地域とともにある学校」の推進を図ります。
- ②子どもたちの将来に生きる力を育むために、学習支援、体験学習、地域学習、読書活動、クラブ活動において、地域の教育力を活用し、「開かれた学校」の推進を図ります。

2 コミュニティスクール（運営協議会）の実践について

(1) 教育活動の実践事例

日頃から、保護者や地域の方から、さまざまなご支援・ご協力をいただき、教育活動を行っています。その地域学習・体験学習などを通して、子どもたちに将来に生きる力を育んでいます。地域に出かけて学ぶ学習、地域の方を学校に招いての学習をすべての学年が年間を通じて、行っています。

今年度は、コロナ禍において、「新しい生活様式」のもと、例年と同様には実践できないところもありました。

10月30日に地域連携授業として、それぞれの学年が地域や地域の方と触れ合う授業を新型コロナウイルス感染症拡大防止の対応を取りながら行いました。

1年生は、体育館で生涯スポーツであるボッチャの試合を楽しみました。下野地区スポーツ推進委員の方2名と競技者の方々との交流を通して、ボッチャのルールや競技のことを学習しました。

2年生は図書館司書さんと図書支援員さんにお越しいただき、しおり作りと読みきかせを行いました。今年のしおり作りのテーマは、「わたし」でした。事前に撮影した自分の写真を貼り、その周りに「わたし」をあらわすものを描きました。できたしおりは学校や家での読書に使っています。そのあと、図書支援員さんに絵本の読み聞かせをしていただきました。子どもたちはとても熱心に聞き入っていました。

3年生は、運営協議会委員長の藤谷さんを講師として招きました。最初に、下野郷土資料館へ行き、昔の道具を見学しました。見たこともない道具の数々に驚きながら、熱心に質問する姿が見られました。その後、実際の石臼できな粉づくりの体験をしました。藤谷さんには、石臼や大豆の準備もお世話になりました。全員が石臼をひく体験をさせていただきました。



4年生は、「下野・活き域ネット」の方々4名に来ていただき、下野地区で作られている竹炭の作り方などの説明を聞いた後、竹炭を使ったペン立てづくりを行いました。活き域ネットの方々から教えていただきながら、子どもたちは思い思いの作品を作り上げることができました。

5年生は、下田さん他2名に来ていただき、注連縄づくりを体験させていただきました。横づちで、わらを打つところから始まり、難しいながらも、それぞれが注連縄飾りを作り上げることができました。うまくできなくて困っている子には、できた子が手伝うなど協力して作品を作っていました。

6年生は、よっかいち諧朋苑の職員の方2名に来ていただき、介護の仕事について、その仕事から感じてみえること、この職業についたきっかけなど、具体的にわかりやすくお話していただきました。また、車いすを利用している方の介助の仕方やどう支援したらいいかの実演を通して、相手を思いやることの大切さも教えていただきました。

この他にも、クラブ活動の支援として、卓球クラブ・英語クラブに支援をいただいています。



昨年度からは地場産業の一つである「下野の梨づくり」について、学校園を使った取組を始めました。梨農園の方の協力の下、土壌づくりをし、6年生児童による苗木の植樹を行いました。今年度は、6年生が、梨の栽培農家の方をゲストティーチャーとして梨栽培についての歴史や栽培上の作業手順、梨栽培の苦勞などの話を聴きました。

さらに今後は、将来に生きるキャリア教育につなげていくために、梨農園から聞き取った内容の交流など、収穫までの流れを学年の段階に合わせて役割を分担し、生活科や総合的な学習の活動として位置付けて、地域との連携活動を深めていきます。



(2) コミュニティスクール（運営協議会）の取組に

よる効果

- ① これまでに引き続き、学習活動や体験活動への支援、クラブ活動の支援などの取り組みが行われました。運営協議会では、その活動の状況を委員のみなさんに知っていただき、これらの活動が継続し、より充実したものになるようにご意見をいただきました。
- ② 委員のみなさんには、教育活動の様々な取り組みや普段の授業、子どもたちの様子を参観していただき、学校の状況をより具体的に知っていただくことができました。子どもたちが落ち着いて授業を受けている姿を見ていただき、子どもたちの成長の様子を評価していただきました。
- ③ 今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、活動を行うことができなかつたり、活動を縮小して行つたりしましたが、地域の方々の協力のもとできる限りのことを行うことができました。

3 今後に向けて

四日市版コミュニティスクールの5年目でしたが、今年度も、保護者や地域の方とのつながりは深く、さまざまな活動にご支援・ご協力をいただくことができました。今後も引き続き、子どもたちがより充実した学校生活が送れるように、取り組みを進めていきたいと思ひます。

学校運営協議会で、地域の方の子どもたちへの支援が子どもたちのためだけではなく、来ていただく地域の方へ元気を与えていることがあるということをおしえていただきました。このように、「地域とともにある学校」として、地域の特色や教育力を可能な限り活用し、子どもたちの将来ために生きる力を育んでいきたいと思ひます。

別紙B

令和2年度四日市版コミュニティスクール活動報告

四日市市立下野小学校

委員長 藤谷 克彦

校長 木村 弘子

月	協議会の開催	活 動 内 容
4		
5	第1回運営協議会 (12日)	<ul style="list-style-type: none"> ・委員委嘱 ・学校づくりビジョンの提案と承認 ・年間活動計画 ＊書面にて行う
6		
7	第2回運営委員会 (10日)	<ul style="list-style-type: none"> ・授業参観 ・1学期の取り組みについて ・地域連携授業について ・意見交換 (児童の様子等)
8		
9		
10		○30日 地域連携授業
11	第3回運営委員会 (19日)	○11日 1年生 昔遊びを教わる会 <ul style="list-style-type: none"> ・授業参観・校内図工科展鑑賞 ・2学期の取り組みについて ・ふれあい餅つき大会の内容変更について ・意見交換 (児童の様子等)
12		
1	第4回運営委員会 (27日)	<ul style="list-style-type: none"> ・下野子どもまつり参観 ・3学期の取り組みについて ・意見交換 (児童の様子等)
2	第5回運営委員会 (16日)	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の現状について ・学校関係者評価 ・今年度の活動報告・承認
3		